



第105回全国高等学校野球選手権長崎大会について



7月6日に開幕した第105回全国高等学校野球選手権長崎大会において本校は初戦、**鹿町工業高校と対戦**しました。4月の工業高校大会で優勝し、NHK杯でも強豪大崎高校と延長戦にもつれ込むほど力のある鹿町工業でした。先発を任せた**K3 浦(大村中)**は体調不良がありましたが強行先発しました。しかし、4回途中で足がつり、そこからは**S2 白川(芦辺中)**が緊急登板しました。**白川は得意のカットボールが冴え、打者15人に対して与えたヒットはわずかに1本と完璧なリリーフ**を見せ7-4で勝利しました。

2回戦は明誠高校。この試合は先発の**M3B 寺田(芦辺中)**が四死球7の乱調でなかなか流れがつかめずリードを許す展開で苦戦しましたが、**代打の浦が逆転タイムリー**を放ち、その後は2番手**白川(芦辺中)**がきっちり抑えどうにか3回戦へコマを進める事ができました。

3回戦の相手は**第6シードの九州文化学園**。この1年間ベスト8以上の成績を維持し続けていた相手でしたが、**先発の寺田が5回を1失点の好投**を見せ、続く**浦もテンポよく相手を打ち取っていき試合は1-1のまま延長タイブレーク**となりました。



2点を先行されましたが2死2-3塁から寺田の同点タイムリーで追いつきました。

11回の表にミスから4失点し最後まで食らいつきましたが力及ばずここでゲームセット。

今年の夏はベスト16で終わってしまいました。球場には保護者や先生方をはじめ、歴代のOBやソフトボール部が応援に駆けつけてくれました。

また、**3試合すべてにおいて吹奏楽部の演奏が選手に力を与えてくれました。**いろいろな人の想いに後押しを受けて、力以上の戦いができたことに感謝したいと思います。

応援ありがとうございました。